



しめ縄づくりワークショップ（ろくじ館）

うたごよみ 睦月

「短歌」

渡辺幸士 選

手を引かれバスで出掛けし紅葉狩その彩りに
心打たるる 松本ぬい子

秋迎え色とりどりの樹々の葉は命尽くしてひ
らひらと落つ 森田 房恵

文化祭習字に絵画出す人の名前を見ては敬服
しおり 上村やす美

八月の暦めくれば猛暑日は忘れしごとく秋の
気配す 内田乃武子

庭木々の根方に咲きし石露の黄花秋陽に輝
きており 上村 かず

はや寒波来るか朝の冷え込みに慌てて服の重
ね着をする 吉永由紀子

寒さ避け暖を求めて眠る猫ひと塊の石にも似
たり 緒方 明美

自販機の横のベンチにバスを待ち持参せし茶
で喉を潤す 内山タミエ

毎回の定期検診市内まで付き添う嫁に感謝し
ており 赤星 文子

明け方に夜具の乱るることも無く和める顔で
夫は逝きたり 赤星 延子

尉 鷓はこの地忘れず訪れて小庭楽しみ尾つ
ば振りおり 塚原 俊子

熊本弁で話掛けると真似をする「くまもん
グッズ」に大笑いする 塚原 曉益
逝きし友病む友ありしクラス会十年後の次回
を思う 渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士 選

「眠る」

眠る娘の未来の幸を祈るのみ 布田 愛子
寝過ごして弁当作り後を追う 緒方 瑞枝
婆ちゃんの添い寝のいびき眠られぬ 北 仁子
妻眠る墓に淋しく花一輪 林 雅之
夜半目覚め深呼吸して良く眠る 松本ぬい子

「ぐずぐず」

温暖化四季もぐずぐず狂ってる 古閑チヨミ
ぐずぐずをいららが待つ駅ホーム 清川みどり
ぐずぐずとしている間にもはや師走 早 彦喜
張り切っても体叶わずぐずぐずと 伊豆野ヤエ
呼びに来るまでぐずぐずと訳がある 渡辺 幸士

「肥後狂句」

厳しかア 面接が領きもせん みどり
身も心も 捧げた相手間違うた 千恵
裏切って 予報に蒲団まだわしゅう 直美

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
096・234・2447（内線321）